

採 蓮

Siren

第十二号

No.12



肉筆34 (浅野報告の参考図参照)



563 (同上)

鳥居清長作品総目録、補遺

浅野 秀 剛

千葉市美術館は二〇〇七年四月二八日から六月一日まで「鳥居清長」展を開催し、それに合わせて図録を刊行、更に、同年五月三一日に『鳥居清長作品総目録』を刊行した。この研究紀要には、『鳥居

清長作品総目録』に載せなかった辻番付を掲載したが、他に、その後に判明した補遺と、若干の覚書を記したい。

1 鳥居清長辻番付目録

1 この目録には、清長が関与したと推定される江戸の大芝居の辻番付を収録した。一部、辻番付を再利用した役割番付も収録したが、それについてはたまたま気づいたものだけであり、網羅的に調査はしていない。

2 辻番付には絵師の署名がないため、清長が版下を描いたかどうかの判断は容易ではない。鳥居家三代目当主の清満が天明5年4月3日に没した後、清長が鳥居家を統率するようになるのが何時からかは判然としないが、天明5年11月の顔見世番付が「鳥居清長筆」となっていることを考慮し、この目録には天明5年以降の江戸の辻番付をすべて収録した。ただし、清長が全く関与していないと思われるごく一部のものは省いた。

3 辻番付の図の版下は鳥居家の仕事であったため、清長が当主である期間は清長が絵組みを統率したと推定され

るが、実際の版下をすべてを清長が描いたかどうかは定かではない。したがって、天明4年以前のものにも清長の版下と思われるものがあるが、それは収録していない。

4 清長は文化12年5月21日に没しているので、同年5月初日のものまで収録した。

5 配列は、①中村座・都座、②市村座・桐座、③森田座・河原崎座の順とした。

6 辻番付には、原則として、初日の日付のみ記しているの
で、それが何年何月であるのかは他の資料に拠らなければならぬ。役割番付に拠るのが最も確実であるが、そこまで確かめてはいない。それについては原則として、『歌舞伎年表』や、番付が所蔵されている図書館・博物館の記載を基に私見によったことをお断りしておきたい。

7 調査した機関は、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館（演博）と略記。以下同。・国立国会図書館（国会）・東京大学附属図書館（東図）・同国文学研究室（東研）・日本大学（日大）・阪急学園池田文庫（池田）のみであり、演劇博物館のものは写真版、東京大学国文学研究室と日本大学のものとはDVD版、池田文庫のものは目録に拠った。それ以外の機関・個人は調査していないが、一部他の情報を加えたものもある。一つの機関で複数所蔵している場合は、括弧内に数字で示した。

	劇場名	上演初日年月日	外題・場名等	豎型・ 横型の 別	所蔵	備考
1	中村	天明5.1.15	初花親曾我	横	演博・日大	
2	中村	天明5.2.3	初花親曾我第二番目	横	演博・日大	
3	中村	天明5.2.18	三つ人形の所作	豎	演博・国会	
4	中村	天明5.3.7	室町桜舞台	横	演博・国会・日大	
5	中村	天明5.4.8	室町桜舞台第二番目	横	演博・国会・日大	
6	中村	天明5.5.5	諸手綱親子心中	横	演博・国会(2)・日大	
7	中村	天明5.5.17	日本出世鑑	豎	演博・日大	
8	中村	天明5.6.14?	菅原伝授手習鑑	横	演博	旧版の再利用か
9	中村	天明5.7.15	稚馴染累詞	横	演博	
10	中村	天明5.8.1	稚馴染累詞第二番目	横	演博	
11	中村	天明5.9.16	織合襷樓錦	横	演博・国会	
12	中村	天明6.1(3).15	さるわか万代廈・道行色のいのじ	横	演博・国会・日大(2)	
13	中村	天明6.4.1?	棟上万代不易記	豎	演博	清長ではない
14	中村	天明6.5.5	六玉川□□□□		演博	旧版の再利用。清長ではない
15	中村	天明6.8.9	貢信田豊年	横	演博・国会・日大	
16	中村	天明6.8.27	貢信田豊年	横	国会	上記の日付のみ改刻
17	中村	天明7.1.8	大銀杏根元曾我	豎	演博・国会	
18	中村	天明7.3.15	助六名取八重桜	横	演博・国会	
19	中村	天明7.5.1	けいせい井堤蒲	横	演博	
20	中村	天明7.5.6	けいせい井堤蒲	横	国会	上記の日付のみ改刻
21	中村	天明7.8.13	今川本領貢入船	豎	演博	
22	中村	天明7.9.9	今川本領貢入船第二番目・浮名艸月小夜衣	横	演博	
23	中村	天明8.4.11	傾城吾嬬鑑	横	演博	

24	中村	天明8.5.5	傾城吾婦鑑第二番目	豎	演博	
25	中村	天明8.7.15	高尾大明神楓籬	横	演博	
26	中村	天明8.9.9	月友宵宮五百崎・高尾大明神楓籬第二番目	豎	演博	
27	中村	天明8.9.11	月友宵宮五百崎・高尾大明神楓籬第二番目	豎	日大	上記の日付のみ改刻
28	中村	天明9.1	江戸富士陽曾我	横	演博・東図	
29	中村	寛政1.3.3	荏柄天神利生鑑・江戸富士陽曾我第二番目	横	演博・日大	
30	中村	寛政1.3.17	花頃誓十七夜待	豎	演博	
31	中村	寛政1.4.16	江戸富士陽曾我第二番目新狂言	豎	演博	
32	中村	寛政1.5.5	江戸富士陽曾我第二番目新狂言	横	演博	
33	中村	寛政1.5.15	江戸富士陽曾我第二番目大詰	豎	演博	富士の巻狩の陣幕紋尽くし
34	中村	寛政1.7.3	平家評判記	横	演博・日大	
35	中村	寛政1.7.21	寿世嗣三番叟	豎	演博	初日「廿三日より」と墨書
36	中村	寛政1.8.6	平家評判記第二番目新狂言	豎	演博・国会	
37	中村	寛政1.8.16	月友対道行・平家評判記第二番目	豎	演博	
38	中村	寛政2.1.15	春錦伊達染曾我	横	演博・日大	
39	中村	寛政2.2.7	春錦伊達染曾我第一番目六立目大詰	横	演博・日大	
40	中村	寛政2.3.3	春錦伊達染曾我第二番目	横	演博・日大	
41	中村	寛政2.4.1	物狂胡蝶袂・春錦伊達染曾我第二番目中幕	横	演博	
42	中村	寛政2.4.2	物狂胡蝶袂・春錦伊達染曾我第二番目中幕	横	演博	上記の日付のみ改刻
43	中村	寛政2.5.5	郭公殊月夜・春錦伊達染曾我第二番目三幕新狂言	横	演博・日大	
44	中村	寛政2.5.24	伊達染曾我まつり	横	演博・日大	
45	中村	寛政2.7.15	忠孝両国織	横	演博・日大	
46	中村	寛政2.8.16	忠孝両国織新狂言二幕	豎	演博・日大	
47	中村	寛政3.1.23	春世界花麗曾我	横	演博	
48	中村	寛政3.3.17	桜浮名朧夜・柳浮名春雨・春世界花麗曾我	横	演博・日大(2)	

49	中村	寛政3.4.11	助六縁牡丹	横	演博	
50	中村	寛政3.5.5	艶容浪花姓・五月菊名大津絵	横	演博・日大・東図	
51	中村	寛政3.5.16	ひらがな盛衰記	竖	演博・日大	
52	中村	寛政3.9.11	菊宴むかしの都	横	演博・日大	
53	中村	寛政4.3.15	隅田川劇場緑日・けいせい浅間嶽・道成寺花の面影	横	演博・日大・東図	
54	中村	寛政4.4.16	隅田川劇場緑日第二番目新狂言	横	演博・日大	
55	中村	寛政5.2.11	遇曾我中村	横	演博・国会・日大・東図	
56	中村	寛政5.3.3	遇曾我中村第二番目新狂言	横	演博	
57	都	寛政6.2.1	初曙観曾我	横	演博・日大	
58	都	寛政6.2	侠客形近江八景・達模様吾妻八景	横	演博	
59	都	寛政6.3.3	初曙観曾我第三番目	横	演博(2)・日大	
60	都	寛政6.3.23	初曙観曾我第三番目	横	演博・日大	上記とは別種のもの
61	都	寛政6.4.12	都座百六拾三年当寿都錦	横	国会	「鳥居清長画」とあり
62	都	寛政6.5.5	花菖蒲文禄曾我	横	演博	
63	都	寛政6.7.25	けいせい三本傘	横	演博・国会・日大	
64	都	寛政6.8.17	けいせい三本傘第二番目新狂言	竖	演博・国会・日大	
65	都	寛政6.9.9	義経千本桜・色競比翼塚	横	演博・日大・東図	
66	都	寛政6.閏11.1	花都廓縄張	竖	演博・国会・日大	
67	都	寛政7.1.15	江戸砂子慶曾我	横	演博	
68	都	寛政7.3.9	江戸砂子慶曾我第二番目新狂言・桃柳娘雛形・三瀬川吾妻人形	横	演博・国会	
69	都	寛政7.4.5	仮名手本忠臣蔵	横	国会(2)	
70	都	寛政7.7.20	遊女操吉原養育	横	国会(2)	
71	都	寛政7.8.7	遊女操吉原養育第二番目新狂言・容競出入湊	横	国会	
72	都	寛政7.8.19	一谷嫩軍記・容競出入湊	竖	国会・日大	
73	都	寛政7.9.9	蘆屋道満大内鑑	横	国会・東図	

74	都	寛政8.1.15	振分髪青柳曾我・帯文桂川水・浮偕吾妻森	横	日大	
75	都	寛政8.2.15	振分髪青柳曾我第二番目新言・京鹿子娘道成寺	横	演博・国会(2)・日大	
76	都	寛政8.3.3	敵討雛磯貝・京鹿子娘道成寺	横	日大	
77	都	寛政8.4.8	祇園祭礼信仰記・京鹿子娘道成寺	横	国会・日大	
78	都	寛政8.4.16	祇園祭礼信仰記・戻駕籠法志賀山	横	国会・日大	
79	都	寛政8.7.15	菅原伝授手習鑑	横	国会	
80	都	寛政8.8.10	新口村色出来秋	竖	演博・国会・日大	
81	都	寛政8.9.9	彦山権現誓助剣	横	演博・国会(3)・日大	
82	都	寛政9.1.15	江戸春吉例曾我・初霞廓巢籠	横	国会	
83	都	寛政9.2.4	江戸春吉例曾我第二番目・梅見月窓閣思君	横	国会(2)	
84	都	寛政9.3.9	御国名物花菅笠・初霞浅間嶽・英執着獅子	横	国会・日大	
85	都	寛政9.3.17	江戸春吉例曾我第二番目・初霞浅間嶽・英執着獅子	竖	国会(2)	
86	都	寛政9.4.10	いろは縁起・花扇邯鄲枕	横	国会・日大	
87	都	寛政9.5.5	ひらかな盛衰記	横	国会(2)・日大	
88	都	寛政9.6.15	大塔宮曦鎧・極彩色娘扇・義経千本桜	横	国会・日大	
89	都	寛政9.閏7.7	出世握虎軍配鑑	横	国会(2)・日大・東凶	
90	都	寛政9.8.1	近江源氏先陣館・姿花秋七種	横	国会・日大・東凶	
91	都	寛政9.8.16	近江源氏先陣館・姫小松子日の遊・姿花秋七種	竖	日大	
92	都	寛政9.9.9	十帖源氏物ぐさ太郎・行平磯馴松・丹州爺打栗	横	国会(5)・日大	
93	中村	寛政10.3.3	若駒驪曾我	横	国会・日大	
94	中村	寛政10.4.9	若駒驪曾我・大切中村富十郎追善妹背山	横	国会	
95	中村	寛政10.5.5	敵討染分纏・道成寺伝授睦言	横	国会(2)・日大・東凶	
96	中村	寛政10.8.10	入船信田出来作	横	演博・国会(2)	
97	中村	寛政10.9.12	太平記忠臣講釈・北条時頼記	横	国会	
98	中村	寛政10.9.23	蘆屋道満大内鑑	竖	国会	

99	中村	寛政11.2.13	大三浦達寿・乱咲縁花笠	横	国会・日大	
100	中村	寛政11.3.3	助六廓の花見時	横	国会	
101	中村	寛政11.4.7	仮名手本忠臣蔵	横	国会(4)・日大	
102	中村	寛政11.4.20	仮名手本忠臣蔵切狂言七変化所作事花菖蒲曳手数多	竖	国会	
103	中村	寛政12.1.21	富士三升幸曾我・幡随長兵衛・妹背中結柏	横	国会(3)	
104	中村	寛政12.2.15	富士三升幸曾我第二番目	竖	日大	
105	中村	寛政12.3.23	意計高尾伊達染・蜀魂其夜の睦言・俊寛双面影	横	国会(2)・日大・東図	
106	中村	寛政12.4.6	俊寛双面影・織合会稽錦	横	国会(3)・日大・東図	
107	中村	寛政12.5.5	義経千本桜・道行初音の旅路	横	演博・国会(3)・日大	
108	中村	寛政12.5.25	江戸花五枚錦絵	竖	国会(2)・日大	
109	中村	寛政12.6.18	出世太平記・庚申若櫓鼓・筆跡倭撫子	竖	演博・国会(2)・日大	
110	中村	寛政12.7.15	けいせい屏風浦・蛍双色夕月	横	演博・国会(3)・日大・東図	
111	中村	寛政12.8.7	けいせい屏風浦第二番目・蛍双色夕月	横	国会(2)・日大	
112	中村	寛政12.9.11	赤松蟾兎見島台	横	国会(3)・日大(2)・東図	
113	中村	享和1.3.23	仮名手本忠臣蔵	竖	国会(2)・東図	
114	中村	享和1.5.9	今盛鳴門嘶・辻花恋待合	横	国会(2)	
115	中村	享和1.7.13	妹背山婦女庭訓	横	国会・東図	
116	中村	享和1.9.18	源平布引滝・振袖隅田川・両顔月姿絵	横	国会(5)・東図	
117	中村	享和2.1.25	初舞台陽向曾我・霞袖春山寺・友呼声塙燕	横	国会(3)・東図	
118	中村	享和2.3.3	助六廓の江戸桜	横	演博・国会(3)	
119	中村	享和2.3.25	菅原伝授手習鑑・助六廓の江戸桜	横	国会・東図	
120	中村	享和2.4.11	想妻給小袖・初舞台陽向曾我第三番目二幕	横	国会	
121	中村	享和2.5.23	彦山権現誓助剣・夏祭団七篇	竖	日大	
122	中村	享和2.8.9	伊賀越乗掛合羽	横	国会・日大・東図	
123	中村	享和2.9.27	伊賀越乗掛合羽・傾城廓文章	竖	国会	

124	中村	享和3.1.17	松春寿曾我・三重霞嬉敷顔烏	横	国会	
125	中村	享和3.2.10	伊達染仕形講釈・道行嫁菜露	横	国会	
126	中村	享和3.4.2	仲蔵縞博多今織	横	演博・国会・東国	
127	中村	享和3.4.16	仲蔵縞博多今織第二番目・錦車縫裾卯の花	竖	国会(2)	
128	中村	享和3.6.5	仮名手本忠臣蔵	竖	国会	
129	中村	享和3.6.6	仮名手本忠臣蔵	2丁	国会	上記のものを役割番付に直したものの。日付を改刻。
130	中村	享和3.6.28	仮名手本忠臣蔵第十段目第十一段目	横	国会	
131	中村	享和3.8.27	菅原伝授手習鑑・幡随長兵衛精進組板・萩薄露転寝	横	国会・東国	
132	中村	享和4.1.2	櫻花御利生鉢木・命懸色の二番目	横	国会・日大	
133	中村	享和4.2.9	罷出邑助花・三人花真の道行	横	日大	
134	中村	文化1.3.17	一谷嫩軍記・長者丸釣鐘鑄桜・花筐鹿子道成寺・道行面影草	横	演博・日大	
135	中村	文化1.5.10	敵討剣組帯・花筐鹿子道成寺	横	演博(2)・国会・日大	
136	中村	文化1.8.13	義経千本桜・道行初音旅	竖	国会・日大	
137	中村	文化2.2.4	全盛虎女石・烏帽子紐解寝夜	横	国会・日大	
138	中村	文化2.3.3	法花四季台	竖	国会(2)	
139	中村	文化2.4.10	還供養妹背縁日・道行念玉蔓	横	国会(2)・日大(2)	
140	中村	文化2.5.5	虎女石後日狂言(夏祭浪花鑑)	竖	国会(2)・日大・東国	
141	中村	文化2.5.16	全盛虎女石後日狂言大切・姿花鳥居が色粉	竖	国会(2)・日大	
142	中村	文化2.7.20	けいせい鏡台山・三紅閨時酒	横	演博(2)・国会・日大(3)	
143	中村	文化2.閏8.1	月視月余慶警討	横	演博・国会(4)・日大(2)・池田	
144	中村	文化2.閏8.16	月視月余慶警討切狂言・太夫暫由縁月視	竖	演博	
145	中村	文化2.9.16	姫小松子日の遊・太夫暫由縁月視	横	国会・日大(2)・東国	
146	中村	文化3.1.17	念力筋立杉・我栖里春曾我菊・初音歌祭文	横	演博・国会・日大	
147	中村	文化3.2.6	念力筋立杉第二番目・初音歌祭文・道行柳臈夜・七字の花在姿絵	横	演博・国会・東国	
148	中村	文化3.3.6	館結花行列・七字の花在姿絵	横	演博・国会(2)・日大(3)	

149	中村	文化3.4.14	館結花行列・七字の花在姿絵	豎	演博・国会(3)	
150	中村	文化3.5.7	姫小松子日の遊	横	演博・国会(2)・日大(3)	
151	中村	文化3.7.28	初紅葉二樹讐討	横	演博・国会(2)・日大(2)・東図	
152	中村	文化3.9.9	初紅葉二樹讐討敵討の段	横	演博・国会	
153	中村	文化3.10.2	義経千本桜・道行初音旅	横	演博・国会(3)	
154	中村	文化4.3.27	さるわか栄曾我・其儘娘七種・助六桜の二重帯	横	演博(2)・国会(3)・池田	
155	中村	文化4.5.5	さるわか栄曾我第二番目(五節句の所作事)	横	演博(2)・国会(3)・池田	
156	中村	文化4.7.20	靈驗鼎高嶺・八幡鐘更行夜中	横	演博(2)・国会(3)・日大	
157	中村	文化4.9.9	仮名手本忠臣蔵	横	演博・国会(4)・日大・東図	
158	中村	文化4.9.23	仮名手本忠臣蔵十段目十一段目	横	演博・国会(4)・東図	
159	中村	文化4.12.3	会稽雪木下第二番目大切・女鉢木雪のだん	横	国会・東図	
160	中村	文化5.1.2	妹背山婦女庭訓・女鉢木雪のだん	横	演博(2)・国会・日大・池田	
161	中村	文化5.2.5	初便春盤飾曾我・梅柳昔画冊	横	演博(2)・日大(3)	
162	中村	文化5.2.6	初便春盤飾曾我・梅柳昔画冊	横	国会・池田	上記の日付のみ改刻
163	中村	文化5.3.23	頃宿花児譜・桜艸対の敵	横	演博(4)・国会(3)・日大(2)・東図・池田	
164	中村	文化5.4.12	頃宿花児譜第二番目大切・堀川の段	豎	演博・東図	
165	中村	文化5.5.5	義経千本桜・幾菊蝶初音道行	横	演博(2)・国会・日大(2)・東研・池田	
166	中村	文化5.6.22	源平布引滝・染模様妹背門松・倭仮名在原系図	豎	演博・国会・東図・東研・池田	
167	中村	文化5.7.17	増補寛仇討	横	演博(2)・国会(2)・日大(2)・東図	
168	中村	文化5.8.10	行平磯馴松・形見忍夫摺	横	演博(2)・国会・日大・東図	
169	中村	文化5.8.28	菅原伝授手習鑑	横	演博(4)・国会・日大・東図	
170	中村	文化5.9.24	菅原伝授手習鑑大切・恋女房染分手綱	豎	演博(3)・日大・東図	
171	中村	文化5.10.2	菅原伝授手習鑑切狂言・廓文章	豎	演博・国会・東図	
172	中村	文化6.3.23	花似想曾我・八百屋お七物語・艶容錦画姿	横	国会	
173	中村	文化6.3.24	花似想曾我・八百屋お七物語・艶容錦画姿	横	演博(4)・国会(2)・日大(2)・東研・池田	上記の日付のみ改刻

174	中村	文化6.4.17	花似想曾我後日狂言・秋葉権現廻船語・邯鄲園菊蝶	横	演博(2)・国会・日大・東研・池田	
175	中村	文化6.5.7	仮名手本忠臣蔵	横	演博(3)・国会・日大(2)・東図	
176	中村	文化6.7.15	高尾丸賀體・色楓縁辻駕	横	演博(2)・国会・東研・池田	
177	中村	文化6.7.19	恋女房染分手綱・姫小松子日の遊	横	演博(3)・国会・東図	
178	中村	文化6.8.7	近江源氏先陣館・惹例跡色歌	横	演博(3)・日大(2)・東研・池田	
179	中村	文化6.9.17	競伊勢物語・廓文章	横	演博(2)・国会・日大(2)・東図	
180	中村	文化6.9.29	男一疋嫁入献立・廓文章	横	演博・国会・日大・東図	
181	中村	文化7.1.15	江戸春御撰曾我・花兄弟壮士春駒	横	国会	
182	中村	文化7.1.17	江戸春御撰曾我・花兄弟壮士春駒	横	演博(3)・日大(3)・東研・池田	上記の日付のみ改刻か
183	中村	文化7.3.3	江戸春御撰曾我後日狂言・楼門五山桐・隅田春妓女容性	横	演博(3)・日大・東研・池田	
184	中村	文化7.4.14	楼門五山桐・隅田春妓女容性・女鉢木	横	演博・日大・東図・池田	
185	中村	文化7.5.5	敵討相合袴	横	演博(2)・国会・日大・東研・池田	
186	中村	文化7.5.21	敵討相合袴切狂言・道行恋飛脚	竖	演博・国会(2)・日大・池田	
187	中村	文化7.7.15	道中娘菅笠	横	演博(3)・日大・東研・池田	
188	中村	文化7.8.17	道中娘菅笠第二番目新狂言・奉掛色浮世図画	横	演博・国会・東研・池田	
189	中村	文化7.9.9	伊達遊花街風俗	横	演博(3)・国会・日大・東研・池田	
190	中村	文化7.9.25	伊達遊花街風俗切狂言・義経腰越状	竖	演博(2)・日大・東図・池田	
191	中村	文化8.1.20	銀杏鶴曾我・廓毘春銀菊・東都名物錦絵始・払曉鐘浅草	横	演博(2)・国会・日大(2)・東図・東研	
192	中村	文化8.2.15	銀杏鶴曾我第二番目・東都名物錦絵始大切・払曉鐘浅草	竖	演博・日大・東図	
193	中村	文化8.閏2.7	銀杏鶴曾我第二番目(加賀見山)	竖	演博・東図	
194	中村	文化8.3.5	年々歳々沙石川	横	演博・国会・日大・東図・東研・池田	
195	中村	文化8.3.15	年々歳々沙石川第二番目・浮名種艶油・花曇傘相合・遅桜手爾葉七字	横	演博・日大・東研	
196	中村	文化8.5.5	花菖蒲佐野八橋	横	演博・日大・東図(2)・東研・池田	
197	中村	文化8.5.17	花菖蒲佐野八橋第二番目大切	竖	演博(2)・日大(3)・池田	
198	中村	文化8.7.15	菅原伝授手習鑑	横	演博・国会・日大(3)・東研・池田	

199	中村	文化8.7.16	仮名手本忠臣蔵	横	演博・国会・日大(4)・東図・東研・池田	
200	中村	文化8.9.17	一谷嫩軍記・枝鶴紅葉賀	横	演博・日大(2)・東研・池田	
201	中村	文化9.1.15	名高富士根曾我・扇全髭門松・台頭霞彩幕・其常磐津仇兼言	横	日大(2)・東研・池田	
202	中村	文化9.3.5	清水清玄面影桜・道行拙振袖・似紫鹿子道成寺	横	演博・日大・東研・池田	
203	中村	文化9.4.5	清水清玄面影桜第一番目新狂言・亀山染読切講釈・道行拙振袖・似紫鹿子道成寺	横	演博・日大	
204	中村	文化9.4.8	清水清玄面影桜第一番目新狂言・亀山染読切講釈・道行拙振袖・似紫鹿子道成寺	横	演博・日大	上記の日付のみ改刻
205	中村	文化9.5.5	皐連歌恋句白浪	横	演博(2)・日大・東研	
206	中村	文化9.7.15	太平記忠臣講釈・道行拙振袖	横	演博・日大(4)・東研	
207	中村	文化9.9.9	ひらがな盛衰記	横	演博(3)・日大(2)	
208	中村	文化9.9.9	ひらがな盛衰記第二番目切狂言・堀山姥・再春松種時・紅葉袖名残錦絵	横	演博(4)・日大(3)	
209	中村	文化10.1.11	春駒勢曾我・隈取霞帯曳・初便廊玉章・三度笠故郷春雨	横	演博・日大	
210	中村	文化10.2.5	春駒勢曾我第二番目・娘景清八島日記	縦	演博・日大	
211	中村	文化10.2.11	未咲花契言・沢紫鹿子道成寺	縦	演博	
212	中村	文化10.3.5	其面影伊達写絵・観瀬水扇楓	横	演博(2)・日大(2)	
213	中村	文化10.3.5	四季詠寄三大字	縦	演博(2)・日大	
214	中村	文化10.4.2	其面影伊達写絵	縦	日大	
215	中村	文化10.5.6	物ぐさ太郎・名所名所秀句の曙・封文其名顕・隙行駒七字法掛	横	演博・日大(2)	
216	中村	文化10.7.15	太平記菊水之巻	横	演博・日大(4)	
217	中村	文化10.7.15	短夜仇散書・文月恨鮫鞘・三重櫓賄曙	横	演博(3)・日大(3)・東図	
218	中村	文化10.8.23	暮太平記白石嘶・短夜仇散書	横	演博・日大(2)	
219	中村	文化10.9.9	蘆屋道満大内鑑・御名残尾花留袖	横	演博(3)・日大(3)・東図	
220	中村	文化10.9.16	(梅の由兵衛)	縦	演博・日大(2)	
221	中村	文化11.1.23	御蟲肩延年曾我・咲分枕土俵・色情曲輪蝶花形・道行若菜の重棲	横	演博(2)	
222	中村	文化11.3.7	花雲宿色衣	横	演博・日大(3)・池田	

223	中村	文化11.3.7	寄三津再十二支	横	演博・日大(3)	
224	中村	文化11.3.18	花雲宿色衣第二番目新 言	竖	演博(2)・日大(2)・東図	
225	中村	文化11.4.6	仮名手本忠臣蔵	横	演博・日大(2)・東図	
226	中村	文化11.5.7	夏祭浪花鑑・戻駕色相肩	横	日大(2)・東図・東研	
227	中村	文化11.6.18	双蝶蝶曲輪日記・戻駕色相肩	横	演博(2)・日大・東研・池田	
228	中村	文化11.7.15	双蝶々曲輪日記後日 言 ・伊勢音頭恋寝刃	竖	演博(2)・日大(2)	
229	中村	文化11.8.6	伊賀越乗掛合羽	横	演博・日大(3)・東研・池田	
230	中村	文化11.9.9	八陣守護城・惣一座色の世界・富ヶ岡屏風八景・壇浦兜軍記	横	演博・日大(2)・東研	
231	中村	文化11.11.21	二人躰座定第二番目・恋女房染分手綱・廓文章	横	演博(2)・日大(3)	
232	中村	文化12.1.15	伊達彩曾我雛形	横	演博・東図・東研	
233	中村	文化12.3.5	五大力艶湊	横	演博・日大(2)・東研	
234	中村	文化12.3.5	其九絵彩四季桜	横	演博(3)・日大(2)	
235	中村	文化12.4.18	五大力艶湊第二番目・ひらがな盛衰記・其九絵彩四季桜	横	演博(2)・日大(2)	
236	中村	文化12.5.5	祇園祭礼信仰記・匂兄弟菖蒲帷子	横	演博・日大・東研	
237	桐	天明4.11	(式三番、桐座再興披露)	横	平野『鳥居清長画集』	署名「鳥居清長筆」。岩井半四郎参加のことが記されているのでかなり早くに作られたものか。
238	桐	天明4.11.1	(桐座再興口上図)	横	演博(2)・国会	
239	桐	天明5.1.17	重重人重歌曾我	横	日大	
240	桐	天明5.2.8	重重人重歌曾我第二番目・春昔由縁英	横	演博・国会・日大	
241	桐	天明5.3.3	重重人重歌曾我第二番目大詰まで・嬌柳妹背的	横	演博・日大(3)	
242	桐	天明5.3.24	江戸仕立団七縞	横	演博(2)・日大	
243	桐	天明5.4.20	江戸仕立団七縞第二番目新 言 ・乱髪夜編笠・式三番	横	演博・日大	
244	桐	天明5.5.5	江戸仕立団七縞第二番目新 言 不残	横	日大	
245	桐	天明5.7.21	千代始音頭瀬渡	横	演博・日大	
246	桐	天明5.8.1	千代始音頭瀬渡第二番目新 言	竖	日大	

247	桐	天明5.8.15	千代始音頭瀬渡・蘆屋道満大内鑑	横	日大	
248	桐	天明5.8.16	千代始音頭瀬渡第二番目不残	横	演博	
249	桐	天明6.3.16	大飾寿曾我・若菜摘野路手段	横	演博・日大・東図	
250	桐	天明6.5.15	大飾寿曾我第二番目	横	日大	
251	桐	天明6.8.18	室町燭文章	横	演博	
252	桐	天明6.9.9	室町燭文章第一番目新狂言・高麗菊浮名色入	竖	日大	
253	桐	天明7.1.15	雪薺視曾我	横	日大	「来ル十一日より」の「一」の上に 墨書で「五」と記入
254	桐	天明7.1.15	雪薺視曾我	横	演博	上記の日付のみ改刻
255	桐	天明7.2.14	雪薺視曾我新狂言	横	日大	
256	桐	天明7.3.5	都鳥弥生渡・花来時色雞	横	日大	
257	桐	天明7.4.18	都鳥弥生渡第二番目	竖	日大	
258	桐	天明7.9.9	天竺徳兵衛故郷取舵・紅葉実能中	横	日大	
259	桐	天明8.2.20	浮名の初霞・世尊翌雪解	横	平野『鳥居清長画集』	
260	桐	天明8.5.5	艶郷習昼夜正説	横	演博	
261	桐	天明8.7.15	菅原伝授手習鑑	横	演博(2)・日大	
262	桐	天明8.8.16	高尾宮本地開帳	横	日大	
263	桐	天明8.9.9	高尾宮本地開帳第二番目新狂言・秋色姿菊蝶	横	演博・日大	
264	市村	天明9.1.15	恋便仮名書曾我・誓文色謂謎	横	日大	
265	市村	寛政1.3.3	其梯浅間嶽・石橋の所作	横	演博・日大(2)	
266	市村	寛政1.4.5	恋便仮名書曾我第二番目・艶容垣根雪	横	演博・東図	
267	市村	寛政1.閏6.8	太平記忠臣講釈	横	日大	
268	市村	寛政1.□.13	(不明)	横	平野『鳥居清長画集』	辻番付の下絵を掲載
269	市村	寛政1.8.5	姿伊達契情容儀	横	日大(2)	
270	市村	寛政1.9.9	姿伊達契情容儀第二番目切狂言・沔山路菊月	横	ボストン美術館	
271	市村	寛政2.1.15	うれしく存曾我	横	日大	

272	市村	寛政2.2.1	うれしく存曾我第二番目	横	日大	
273	市村	寛政2.3.15	花贈木母寺由来・吾嬬鳥娘道成寺・都鳥男浅妻・嬌柳朧黒髪	横	日大	
274	市村	寛政2.5.9	有職鎌倉山	横	日大	
275	市村	寛政2.6.15	四季風流彩色扇・ひらがな盛衰記・極彩色娘扇	横	演博・日大	
276	市村	寛政2.9.9	義経腰越状	横	日大(2)	
277	市村	寛政3.1.15	春色江戸絵曾我・百千鳥蝶羽根書	横	演博(2)・日大	
278	市村	寛政3.2.16	春色江戸絵曾我第二番目新狂言・棲蓑跣振袖	横	演博・日大	
279	市村	寛政3.3.17	春色江戸絵曾我第二番目大詰	横	日大	
280	市村	寛政3.4.2	筆薔蕤壺碑・助六花街二葉草	横	演博	
281	市村	寛政3.6.12	義経千本桜	横	国会	
282	市村	寛政3.8.1	仮名書室町文談	横	演博・日大	
283	市村	寛政3.9.9	竹春吉原雀	竖	国会・日大	
284	市村	寛政4.2.14	若紫江戸子曾我第二番目	横	東図	「来ル十四日より」の「四」は墨書
285	市村	寛政4.2.16	若紫江戸子曾我第二番目	横	演博	「来ル十六日より」の「六」は墨書。上記と同一のもの。
286	市村	寛政4.4.6	花楊轡白髪岸柳	横	日大	
287	市村	寛政4.8.5	むかしむかし掌白猿	竖	日大・東図	
288	市村	寛政4.9.15	妹背山婦女庭訓	横	日大	
289	市村	寛政5.2.1	貢曾我富士着綿・新曲かぐら獅子	横	日大・東図	
290	市村	寛政5.3.15	貢曾我富士着綿第二番目新狂言・(助六)	横	日大	
291	市村	寛政5.4.15	貢曾我富士着綿第二番目新狂言(大詰)	竖	日大(2)	
292	市村	寛政5.5.13	仮名手本忠臣蔵	横	国会・日大	
293	桐	寛政6.1.11	舞台花若栄曾我	横	演博	
294	桐	寛政6.2.9	舞台花若栄曾我第二番目	竖	日大	
295	桐	寛政6.3.3	舞台花若栄曾我第二番目新狂言	横	演博・日大	
296	桐	寛政6.3.15	蟲曳花鐘入	横	日大	

297	桐	寛政6.4.8	舞台花若栄曾我第三番目新狂言	豎	日大	
298	桐	寛政6.5.5	敵討乗合話・花菖蒲思弁	横	ボストン美術館	
299	桐	寛政6.5.27	若栄曾我まつり	豎	日大・東図	
300	桐	寛政6.8.15	神靈矢口渡・四方錦故郷旅路	豎	国会・日大	二丁の役割番付に改変したものあり
301	桐	寛政6.8.24	四方錦故郷旅路第三番目切狂言・姫小松子日の遊	横	演博・日大	
302	桐	寛政6.閏11.1	男山御江戸磐石第二番目	横	日大	
303	桐	寛政7.1.15	再魁霖曾我・浪花衛別墅	横	ボストン美術館	
304	桐	寛政7.2.1	再魁霖曾我第二番目・八十八夜恨鮫鞘	豎	演博・国会	
305	桐	寛政7.2.13	再魁霖曾我後日狂言・八百やお七恋江戸染・筆茅針恋字	横	国会	
306	桐	寛政7.4.15	仮名手本忠臣蔵	横	日大	
307	桐	寛政7.5.12	染分手綱道中双六の段・忠臣蔵・蓬茸軒玉水・染分手綱十一段目	横	国会	
308	桐	寛政7.6.4	三浦大助紅梅豹・平家女護島・藍桔梗雁金五紋	豎	国会(2)	
309	桐	寛政7.6.17	藍桔梗雁金五紋・江戸紫娘道成寺	横	国会	
310	桐	寛政7.7.17	妹背山婦女庭訓・糸薄色苧環	横	国会	
311	桐	寛政8.1.27	曾我大福帳・文枕閨初恋・隅田春妓女容性	横	演博・国会・日大	
312	桐	寛政8.4.8	江戸花赤穂塩竈	横	演博(2)・国会・日大(2)	
313	桐	寛政8.5.5	恋閣臯月嫩・壇浦兜軍記	横	国会(2)・日大	「壇浦兜軍記」の部分だけ改刻したものと二種あり
314	桐	寛政8.5.20	恋閣臯月嫩・壇浦兜軍記・国性爺合戦	横	国会(2)・日大	
315	桐	寛政8.7.27	時花唄比翼三紋・菊花墟仇夢	横	国会(4)・日大	
316	桐	寛政8.9.9	時花唄比翼三紋切狂言・彦山権現誓助剣	横	演博・国会(2)・日大	
317	桐	寛政8.9.25	彦山権現誓助剣切狂言・物ぐさ太郎	豎	国会(2)・日大	
318	桐	寛政9.1.13	大注連曾我門松・雛睦月三引・青楼詞合鏡	横	国会	
319	桐	寛政9.1.17	大注連曾我門松・雛睦月三引・青楼詞合鏡	横	国会	上記の日付のみ改刻
320	桐	寛政9.3.17	太平記菊水之巻	横	国会(2)・日大	

321	桐	寛政9.4.6	けいせい時雨桜・江戸紫娘道成寺・咲初花振袖	横	国会・日大(3)	
322	桐	寛政9.5.17	藍桔梗雁金五紋・江戸紫娘道成寺	横	日大(2)	
323	桐	寛政9.6.24	太平記忠臣講釈・積恋雪関扉	竖	国会・日大・東国	
324	桐	寛政9.閏7.15	月武蔵野秋狂言・道行恋思荷	横	演博・国会・日大	
325	桐	寛政9.9.9	菅原伝授手習鑑	横	国会(4)・日大(3)	
326	桐	寛政10.1.15	着衣始小袖曾我・髭豆男廓文車	横	演博	
327	桐	寛政10.3.3	潞標浪花眺・道行菜種裳	横	国会(3)	
328	桐	寛政10.4.12	着衣始小袖曾我第三番目新狂言	横	国会・日大(2)	
329	桐	寛政10.5.5	着衣始小袖曾我第四番目	竖	国会(3)・日大	
330	桐	寛政10.5.21	蘭奢待新田系図	竖	国会(2)	
331	桐	寛政10.6.7	道行恋飛脚	竖	日大	
332	桐	寛政10.6.20	双蝶蝶曲輪日記・蘆屋道満大内鑑・花鍼葛葉重	竖	国会(2)	
333	桐	寛政10.7.29	智仁勇三面大黒・十二段月粧	横	国会(2)・日大	
334	桐	寛政10.8.8	智仁勇三面大黒第二番目新狂言・大内山恋賊	竖	東国	
335	桐	寛政10.8.16	新うすゆき物語・のべの書置・恋の橋つくし	横	国会(3)・日大(3)	
336	桐	寛政10.9.9	其倅浅間嶽・相生獅子	?	東国	
337	桐	寛政10.9.29	御存五大力	竖	演博	
338	市村	寛政10.11.1	(櫓再興口上、翁)	横	演博	
339	市村	寛政11.1.15	大紋日花街曾我・六玉川衛柵・花姿詠千金	横	国会・日大(4)	
340	市村	寛政11.3.3	大紋日花街曾我第二番目新狂言(草履打)	竖	国会(4)・日大(2)	
341	市村	寛政11.4.8	袷小袖血汐染色・道行比翼袖屏風・大紋日花街曾我第三番目新狂言	横	演博・国会(2)・日大	
342	市村	寛政11.5.5	本朝廿四孝	横	国会(2)・日大(2)	
343	市村	寛政11.7.23	女文字筆陸	横	日大(2)	
344	市村	寛政11.7.26	女文字筆陸	横	国会(4)	上記と同一。「来ル廿六日より」の「六」を墨書にしたものと改刻したもの二種あり。

345	市村	寛政11.8.17	女文字筆陸・増補千両幟・浮名夜月洩世中	横	国会・日大・東図	
346	市村	寛政11.9.9	義経千本桜・差夷爾初音色鳥・江戸紫男鑑	横	国会(3)・日大・東図	
347	市村	寛政12.1.15	梅薫嘗曾我・仇競恋姿見	横	国会・日大(2)	
348	市村	寛政12.2.12	楼門五山桐・瀬川の仇浪	横	国会(6)・日大	
349	市村	寛政12.3.3	楼門五山桐第一番目六建目	竖	国会(2)・日大	
350	市村	寛政12.4.2	化粧六歌仙	竖	日大	
351	市村	寛政12.4.14	楼門五山桐後日・蜘蛛曳渦巻	竖	国会(3)・日大	
352	市村	寛政12.閏4.2	男巻誓立願	横	国会(3)・日大・東図	
353	市村	寛政12.5.10	ひらかな盛衰記	横	演博・国会(2)	
354	市村	寛政12.5.21	艸闌鳥の庵	竖	国会(2)・日大	
355	市村	寛政12.6.16	源平布引滝・五大力恋緋	竖	演博・国会・日大(2)	
356	市村	寛政12.6.18	源平布引滝・五大力恋緋	竖	国会(2)	上記の日付のみ改刻
357	市村	寛政12.7.15	仮名手本忠臣蔵	横	国会(4)	
358	市村	寛政12.7.23	仮名手本忠臣蔵第二番目切狂言・沓山路菊月	横	演博	「来ル廿三日より」の「三」は墨書
359	市村	寛政12.7.23	仮名手本忠臣蔵第二番目切狂言・沓山路菊月	横	国会	上記と同一。日付は版刻。
360	市村	寛政12.8.16	物ぐさ太郎	横	国会(5)・日大(2)	
361	市村	寛政12.9.9	菅原伝授手習鑑	横	国会(2)・日大	
362	市村	寛政13.1.17	通花街馴初曾我・變百人一首・恋いろは短書始	横	日大	
363	市村	享和1.2.17	通花街馴初曾我第二番目新狂言・今様雄雌魔石橋	竖	国会・日大	
364	市村	享和1.3.3	比良嶽雪見陣立・桃桜雛世帯・道行恋蝶菜花盛	横	国会(2)・日大(2)	
365	市村	享和1.4.14	全盛伊達曲輪入・茂懺悔睦言・増補むめのよし兵衛	横	国会・日大(3)	
366	市村	享和1.5.21	祇園祭礼信仰記	竖	国会(3)	
367	市村	享和1.8.19	敵討認雁的	横	国会(4)・日大・東図	
368	市村	享和1.9.9	敵討認雁の第一番目大切	竖	日大	
369	市村	享和1.9.27	敵討認雁の第二番目新狂言・堂島田実豊	竖	日大	

370	市村	享和2.1.19	三国一縷盞・花恋月夜里	横	日大	
371	市村	享和2.3.18	天満宮菜種御供	横	国会	
372	市村	享和2.5.19	太平記忠臣講釈・新艘本朝丸	横	国会(3)	
373	市村	享和2.8.1	棹歌恋白浪・信田妻名残狐別・爰双吾妻菊	横	演博・国会・東図	
374	市村	享和3.閏1.1	歳男徳曾我・江戸紫由縁十徳・乱候柳黒髪	横	演博・国会(2)・日大	
375	市村	享和3.2.7	歳男徳曾我第二番目・江戸紫由縁十徳・乱候柳黒髪	竖	日大	
376	市村	享和3.3.11	歳男徳曾我第二番目新狂言(草履打)	竖	演博・国会	寛政11.3.3市村座の版木を流用し、顔・紋と文字の一部を改刻
377	市村	享和3.5.14	歳男徳曾我第三番目・のべの書残	竖	国会(2)・日大	
378	市村	享和3.6.8	太平記忠臣講釈・五大力恋緋	竖	国会(3)・日大	
379	市村	享和3.7.15	積恋雪関扉	竖	国会・日大	
380	市村	享和3.8.7	義経千本桜・恋中車初音の旅・桂川瀬月見・恋栗萩玉鉾	横	演博・東図	
381	市村	享和3.9.9	妹背山婦女庭訓	横	演博・国会(2)・日大(2)	
382	市村	享和3.9.16	月名残誓約石山	横	演博・国会・東図	
383	市村	享和3.9.24	仮名手本忠臣蔵	横	国会	
384	市村	享和4.1.20	梅桜松曾我	横	国会(2)・日大(2)	
385	市村	文化1.2.20	四花菱比翼吉原・其妹背花朧・四紅葉思恋深川・妻夫事雨柳	横	国会(4)・日大(2)・東図	
386	市村	文化1.4.5	梅桜松曾我第二番目・卯花恋中垣・時鳥夢生玉	横	国会・日大・東図	
387	市村	文化1.6.16	ひらかな盛衰記・青楼詞合鏡	竖	国会・日大(3)	
388	市村	文化1.7.15	其倂浅間嶽	竖	国会・日大(2)・東図	
389	市村	文化1.7.26	碁太平記白石噺	横	国会(2)・日大(2)・東図	
390	市村	文化1.9.9	漢人韓文手管始・吉原俄番付・全盛操花車	横	国会	
391	市村	文化2.2.16	花雲曙曾我・江戸性男鑑・未結女夫柳	横	国会(2)・池田	
392	市村	文化2.12(3).3	花雲曙曾我第一番目・恋相場身請入札第二番目	竖	東図	「来ル十二月三日より」とあり
393	市村	文化2.3.3	花雲曙曾我第一番目・恋相場身請入札第二番目	竖	国会(2)	上記と同一のもの。「来ル三月三日より」とあり。

394	市村	文化2.3.27	伊達姿花見御殿・二世の緑青葉楓	横	国会(2)・日大(2)	
395	市村	文化2.4.27	花菖蒲浮木亀山	横	国会・日大・東図(2)	
396	市村	文化2.5.7	男作五雁金	竖	国会(3)・日大・東図	
397	市村	文化2.5.13	花菖蒲浮木亀山第二番目・橘古巢玉垣	竖	国会・日大・東図	
398	市村	文化2.6.12	双蝶々曲輪日記・姫小松子日の遊	竖	国会(2)・日大(2)	
399	市村	文化2.7.15	源平布引滝・双蝶々曲輪日記・姫小松子日の遊	竖	国会(2)・日大(2)・東図	
400	市村	文化2.閏8.1	小室節錦江戸入・茲来着綿菊姫入・女郎花桂曙	横	演博・国会(4)・日大(2)	
401	市村	文化2.9.9	木下蔭狭間合戦	竖	演博(2)・国会(3)・日大・東図	
402	市村	文化3.1.21	梅柳魁曾我・其画寅試筆	横	演博・国会・日大(2)・池田	
403	市村	文化3.1.21	略三五大切・仇枕夢玉銚・河原噂京諺・比翼鳥部山	横	演博・国会・日大(2)・東図	
404	市村	文化3.3.3	梅柳魁曾我第二番目大詰新臺言	竖	演博・国会(2)・日大・東図	
405	市村	文化3.4.14	仮名手本忠臣蔵	横	演博・国会(3)・東図・池田	
406	市村	文化3.5.5	仮名手本忠臣蔵十段目十一段目	横	演博・国会(2)・日大(2)・東図	
407	市村	文化3.6.18	波枕韓聞書	竖	国会・日大・東図	
408	市村	文化3.9.9	湖月照天松	竖	演博・国会(3)・日大・東図	
409	市村	文化3.9.17	花兄幡随長兵衛・恋結露菊蝶	横	演博・国会(3)・日大(2)・東図・池田	
410	市村	文化3.9.27	織合襪襦錦	横	演博・国会(2)・日大(2)・東図	
411	市村	文化4.2.5	壮平家物語	竖	演博・国会(2)・日大・東図	
412	市村	文化4.3.7	橘盤代曾我・其庵模様五節句・往昔元吉原	横	演博(3)・国会(3)・日大・池田	
413	市村	文化4.4.5	橘盤代曾我第二番目大詰・追善丸伊左衛門・道行菜種裳	横	国会(2)	
414	市村	文化4.4.6	橘盤代曾我第二番目大詰・追善丸伊左衛門・道行菜種裳	横	国会・日大・東図	上記の日付のみ改刻
415	市村	文化4.5.5	陌頭岸柳島・京鹿子娘道成寺	横	演博・国会(3)	
416	市村	文化4.6.20	三国妖婦伝・本律糸のしらべ	横	国会(5)・日大・東図	
417	市村	文化4.8.22	金龍山創磐・魂縷結千種朝露	横	国会(4)・日大	
418	市村	文化4.9.16	金龍山創磐第二番目・桂川連理柵	横	演博・国会(4)・日大・東図	

419	市村	文化4.10.2	金龍山創磐第二番目大詰・けいせい返魂香・其手向法大津絵	縦	演博・国会(3)・東図	
420	市村	文化5.1.13	月梅和曾我・解初霞帯曳・春商恋山崎	横	演博・国会(2)・東図・池田	
421	市村	文化5.2.4	月梅和曾我第二番目・春商恋山崎	縦	演博・国会(2)・日大・東図	
422	市村	文化5.3.3	伊達競阿国戯場・恨衣棧棠累	横	演博(3)・国会(2)・日大・池田	
423	市村	文化5.4.8	伊達競阿国戯場後日狂言・道行初時鳥	横	日大	「来ル八日より」の「八」の上に「九」と墨書
424	市村	文化5.4.9	伊達競阿国戯場後日狂言・道行初時鳥	横	演博・国会・日大・東図	
425	市村	文化5.5.5	仮名手本忠臣蔵	横	演博(3)・国会(2)・日大・東図・池田	図の部分は文化3.4.14を流用し紋を改刻
426	市村	文化5.5.16	本朝廿四孝	横	演博(3)・国会(2)・日大・東図	
427	市村	文化5.5.16	垣衣艸手向発心	横	演博(3)・国会(3)・日大・東図	
428	市村	文化5.閏6.6	彩入御伽艸・蟬時雨恨刃	横	演博・国会(2)・日大(2)・東図(2)・池田	
429	市村	文化5.閏6.8	彩入御伽艸・蟬時雨恨刃	横	国会	上記の日付のみ改刻
430	市村	文化5.7.5	彩入御伽艸後日狂言	縦	演博(2)・国会(2)・日大	
431	市村	文化5.7.25	時桔梗出世請状	横	演博(3)・国会(2)・日大・東図・池田	
432	市村	文化5.8.10	時桔梗出世請状後日・是筐残高麗屋綺	横	演博(2)・国会・日大・東図・池田	
433	市村	文化5.9.9	鳴響御未刻太鼓	横	演博(3)・国会(2)・日大・東図	
434	市村	文化5.9.21	鳴響御未刻太鼓第二番目・三扇法絵合	縦	日大	
435	市村	文化5.9.22	鳴響御未刻太鼓第二番目・三扇法絵合	縦	演博・国会・東図	上記の日付のみ改刻
436	市村	文化6.4.5	霊験曾我籬・元為見花所領権	横	演博(3)・国会(3)・日大(2)・池田	
437	市村	文化6.5.5	霊験曾我籬第二番目新狂言	横	演博・国会(2)・日大・東図	
438	市村	文化6.6.12	日本振袖始・御祭礼端午帷子	横	演博(2)・国会・日大・東図	
439	市村	文化6.6.24	蘆屋道満大内鑑・道行信田二人妻	縦	演博(2)・国会・日大(2)・東図	
440	市村	文化6.7.15	魂祭お七の追善・新煖房離世話事・道行手向の花曇	横	演博(3)・国会・日大・東図	
441	市村	文化6.8.17	ひらがな盛衰記・富岡恋山開	横	演博(2)・日大・東図	
442	市村	文化6.9.16	高麗大和皇白浪	横	演博(3)・国会・日大・池田	

443	市村	文化7.1.15	春栄松曾我・祐成寄書初・心謎解色糸	横	演博(3)・日大(2)	
444	市村	文化7.3.6	楼門五山桐・勝相撲浮名花触・風誘鐘四竹	横	演博(3)・日大(3)・池田	
445	市村	文化7.4.12	楼門五山桐後日・沢紫鹿子道成寺	横	演博(3)・国会・日大(2)・東図	
446	市村	文化7.5.5	絵本合法衛	横	演博・国会・日大・池田	
447	市村	文化7.6.22	閨扇墨染桜・尾上の鐘忍夜話	横	演博(3)・国会・日大(3)・池田	
448	市村	文化7.7.15	閨扇墨染桜増補新狂言・尾上の鐘忍夜話	竖	演博(2)・日大(3)・東図	
449	市村	文化7.8.17	当秋八幡祭	横	演博(2)・国会(2)・日大・池田	
450	市村	文化7.9.15	当秋八幡祭第二番目大切・千種の花色世盛	横	演博(3)・国会・日大(2)・東図	
451	市村	文化8.1.17	毬蓬菜曾我・仕立苳昔綺・袖浦誓中偕	横	演博(4)・国会・日大(3)・東図・池田	
452	市村	文化8.2.18	毬蓬菜曾我第二番目・助六所縁江戸桜	横	演博・東図・池田	
453	市村	文化8.閏2.3	毬蓬菜曾我第二番目(草履打)	竖	演博	
454	市村	文化8.3.6	噺話水滸伝・七枚続花の姿絵	横	演博(2)・日大	
455	市村	文化8.4.8	噺話水滸伝第二番目後日狂言・七枚続花の姿絵	竖	演博(2)・国会・日大(2)・東図	
456	市村	文化8.5.1	伊賀越乗掛合羽	横	演博(2)・日大(2)・東図・池田	
457	市村	文化8.5.5	伊賀越乗掛合羽大切	横	国会・日大(2)	
458	市村	文化8.5.17	御註文仕入茜染	横	演博(3)・日大・東図	
459	市村	文化8.7.18	玉藻前尾花錦繡・苧枕露濡事・謎帯一寸徳兵衛	横	演博(4)・国会・日大(2)	
460	市村	文化8.9.16	義経千本桜・道行初音旅	横	演博(2)・東図・池田	初日は貼紙か改刻
461	市村	文化9.1.17	初松鷺曾我・三津朝床敷顔触・色一座梅椿	横	演博・池田	
462	市村	文化9.3.5	姿花江戸伊達染・其俤浅間嶽・深見草相生獅子	横	演博(2)・日大(2)・東研・池田	
463	市村	文化9.4.11	囃山姥	竖	演博・日大(2)	
464	市村	文化9.5.5	菖蒲太刀利生鑑	横	演博(3)	
465	市村	文化9.5.11	妹背山婦女庭訓・詠繡子帯屋	横	演博(2)・日大	
466	市村	文化9.6.16	京詣雷神桜	横	演博(4)・日大(2)・池田	
467	市村	文化9.6.16	其姿まゐらせ候・散書仇名かしく	横	演博(2)・日大(2)・池田	

468	市村	文化9.9.1	菅原伝授手習鑑	横	演博(2)・日大(2)	
469	市村	文化10.1.26	花挿倅曾我・牛房髭御節献立・花昏待乳山清攪・濡扇恋朧夜	横	演博・日大(3)	
470	市村	文化10.3.12	添削信仰記・心中嫁菜露・爰咲似山桜	横	演博(4)・日大(2)	
471	市村	文化10.4.5	仮名手本忠臣蔵・爰咲似山桜	横	演博・日大	
472	市村	文化10.6.24	ひらがな盛衰記・釜淵双級巴・近頃河原の達引	横	演博(2)・日大(2)	
473	市村	文化10.8.15	尾上松緑洗濯話・累洩扱其後・閨茲姿八景	横	演博(3)・日大(2)	
474	市村	文化11.3.3	隅田川花御所染・都鳥名所渡	横	日大	
475	市村	文化11.5.19	復再松緑刑部話・歎三升四季俳優	横	演博・東国	
476	市村	文化11.5.22	復再松緑刑部話・倣三升四季俳優	横	演博(2)・日大(4)・東国	上記の日付のみ改刻
477	市村	文化11.6.16	桂川縁仇浪	竖	日大(3)	
478	市村	文化11.7.24	新織博多編入船・もと様参かしく文月	横	演博(2)・日大(2)	
479	市村	文化11.8.10	新織博多編入船切狂言・廓文章	竖	演博・日大	初日の日付は改刻
480	市村	文化11.8.11	新織博多編入船切狂言・廓文章	竖	演博・日大(2)	上記の日付のみ改刻
481	市村	文化11.8.28	染纏竹春駒	横	演博(3)・日大(2)	
482	市村	文化11.9.14	染纏竹春駒大切・四季写記念紅筆	横	演博(2)	
483	市村	文化12.1.15	増補富士見西行・其蓋色三組	横	日大(2)	
484	市村	文化12.2.8	増補富士見西行第二番目大詰・御存江戸絵風流	竖	演博(2)・日大(3)	
485	市村	文化12.3.3	義経千本桜	横	演博(2)・日大(3)	
486	市村	文化12.3.17	義経千本桜後日第二番目・八重霞桜花掛合	横	演博(2)・日大(3)	
487	市村	文化12.4.12	義経千本桜後日狂言第二番目・郭公色夜話・八重霞桜花掛合	横	演博(2)・日大(2)	
488	市村	文化12.5.19	箱根靈験覺仇討・今様須磨の写絵	横	演博(4)・日大	
489	森田	天明6.2.9	花御江戸恵曾我・振袖染分道成寺・色手綱前髪角力	横	演博・日大	
490	森田	天明6.3.9	花御江戸恵曾我第二番目	横	演博	
491	森田	天明6.5.23	花御江戸恵曾我後日・国性爺合戦	竖	演博	
492	森田	天明7.1.15	花入庵初会曾我	横	演博	

493	森田	天明7.2.11	花入庵初会曾我第二番目新狂言・京麁子娘道成寺	豎	演博	
494	森田	天明7.3.18	花入庵初会曾我第二番目新狂言・散残花貞鳥	豎	演博	
495	森田	天明7.4.17	花入庵初会曾我第二番目大詰	豎	演博・日大	
496	森田	天明8.1.21	雛形稚曾我	横	演博	
497	森田	天明8.3.7	雛形稚曾我第一番目第二番目・垣衣恋写絵	横	演博・日大	
498	森田	天明8.4.9	仮名手本忠臣蔵	豎	演博	
499	河原崎	寛政3.2.7	初緑幸曾我	豎	演博・日大(2)	
500	河原崎	寛政3.3.3	初緑幸曾我第二番目・過恋深山桜	横	演博	
501	河原崎	寛政3.4.15	初緑幸曾我第二番目三幕新狂言	横	演博・日大	
502	河原崎	寛政3.5.5	初緑幸曾我第二番目残らず・席書墨絵の富士	横	演博・日大	
503	河原崎	寛政3.6.17	女達高麗屋経緯	豎	演博・日大	左下には「六月十五日ヨリ」とあり
504	河原崎	寛政3.8.1	増補夏祭中の巻・細工業雛出来秋	横	演博・日大(2)・東図	
505	河原崎	寛政3.9.9	女達高麗屋経緯十一段目二幕	横	演博・日大	
506	河原崎	寛政3.9.22	女達高麗屋経緯十一幕統下の巻	豎	演博・日大	
507	河原崎	寛政3.9.27	女達高麗屋経緯切狂言・俊寛島物語	横	演博・日大	
508	河原崎	寛政4.1.23	けいせい金秤目	豎	演博・日大	
509	河原崎	寛政4.3.3	けいせい金秤目第二番目	豎	演博・日大	
510	河原崎	寛政4.4.6	けいせい金秤目第二番目・恋衣縁初桜	横	演博・日大	
511	河原崎	寛政4.4.18	けいせい金秤目第二番目大詰・杜若七重の染衣	横	演博	
512	河原崎	寛政4.5.5	忠臣伝仕形講釈・富貴曾我裾野陸	横	演博	
513	河原崎	寛政4.6.20	極彩色娘扇	豎	演博	
514	河原崎	寛政4.8.23	神明祭祀女団七・花信時雨森・蘆屋道満大内鑑	横	演博・日大	
515	河原崎	寛政5.1.13	御前懸相撲曾我	横	演博・日大	
516	河原崎	寛政5.2.1	御前懸相撲曾我第二番目	横	演博・日大	
517	河原崎	寛政5.3.4	御前懸相撲曾我第二番目・桜花恋巣籠	横	演博・日大・東図	

518	河原崎	寛政5.4.2	御前懸相撲曾我第二番目・英名鐵五郎	横	演博・日大	
519	河原崎	寛政5.5.5	潤色八百屋お七・時鳥夢路恋	横	演博・日大・東図	
520	河原崎	寛政5.5.27	寛活そがまつり	横	演博・日大	
521	河原崎	寛政5.7.15	潤色八百屋お七続狂言三幕	横	日大	
522	河原崎	寛政5.7.20	潤色八百屋お七続狂言三幕	横	演博	上記の日付のみ改刻
523	河原崎	寛政5.8.7	姫小松子日の遊	横	演博・日大	
524	河原崎	寛政5.8.24	姫小松子日の遊続狂言三幕	豎	演博・日大	
525	河原崎	寛政5.9.17	姫小松子日の遊続新狂言二幕・江戸紫娘道成寺	横	演博・日大	
526	河原崎	寛政5.11.15	三扇屋所縁紙子・花麗源氏花咲門	豎	演博	
527	河原崎	寛政6.1.13	御曳花愛敬曾我	横	演博・日大	
528	河原崎	寛政6.3.3	御曳花愛敬曾我第二番目・色雉子浮名夜桜	横	演博	
529	河原崎	寛政6.4.2	御曳花愛敬曾我第二番目・色垣衣娘售	横	演博	
530	河原崎	寛政6.5.5	恋女房染分手綱・時鳥花有里・義経千本桜	横	演博・日大	
531	河原崎	寛政6.5.27	曾我まつり	横	演博	
532	河原崎	寛政6.8.7	二本松陸奥生長・桂川月思出	横	演博・東図	
533	河原崎	寛政6.9.9	二本松陸奥生長第二番目新狂言・紅葉榻錦滝	横	演博	
534	河原崎	寛政6.9.21	仮名手本忠臣蔵	豎	演博・日大	
535	河原崎	寛政6.閏11.1	松貞婦女楠・春待猫妻乞	横	演博	
536	河原崎	寛政7.2.7	注連鰯吉例曾我	横	演博・国会	初日の日付「十五日」の上から「七日」と墨書
537	河原崎	寛政7.8.1	全盛東伽羅・色懺悔野辺花道	横	国会(2)	
538	河原崎	寛政7.9.9	全盛東伽羅第二番目	豎	国会・日大	
539	河原崎	寛政7.9.21	妹背山婦女庭訓	豎	国会	
540	河原崎	寛政8.2.2	柳桜曾我懺・仇恋名画の通路	横	国会・日大・東図	
541	河原崎	寛政8.3.25	太平記忠臣講釈・亀屋綿裏山富貴・燕鳥故郷軒	豎	日大	
542	河原崎	寛政8.8.5	けいせい水滸伝・丹前出口揚柳島	横	国会・日大	

543	河原崎	寛政9.1.20	富士見里和曾我・思春娘嬌已年	横	国会(2)	
544	河原崎	寛政9.3.3	富士見里和曾我・助六廊桜人	横	日大	
545	河原崎	寛政9.4.8	富士見里和曾我第二番目新狂言	横	日大	
546	河原崎	寛政9.4.9	富士見里和曾我第二番目新狂言	横	国会・日大	
547	河原崎	寛政9.4.25	関取菖蒲締	竖	演博	
548	河原崎	寛政9.5.5	関取菖蒲締	竖	国会(2)・日大	上記の日付のみ改刻
549	河原崎	寛政9.6.8	富士見里和曾我後日狂言・関取菖蒲締	竖	国会(3)・千葉市美術館	
550	河原崎	寛政9.7.20	時今蓮花魁・詩和歌分根牡丹	横	国会・日大	
551	河原崎	寛政9.8.15	とくさま参お初天神・全盛操花車	横	国会・日大	
552	河原崎	寛政9.9.3	貢物志賀入船	横	国会(2)・日大・東図	
553	森田	寛政10.2.1	鏡万代曾我・市川団蔵待受噺・東下花関札	横	国会・日大	
554	森田	寛政10.2.3	市川団蔵待受噺	竖	国会	
555	森田	寛政10.7.15	桂男刃大剣・織合襦袢錦	横	国会・日大(3)・東図	
556	森田	寛政10.8.16	源平布引滝	竖	国会・日大	
557	森田	寛政10.9.9	妹背山婦女庭訓・振袖隅田川・両顔月姿絵	横	国会(2)・日大・池田	
558	森田	寛政11.1.13	彦山権現誓助剣	横	国会(2)・日大	
559	森田	寛政11.3.11	伊達衣裳曲輪好・八重単操の桜戸	横	国会(4)・日大	
560	森田	寛政11.4.6	伊達衣裳曲輪好・京鹿子娘道成寺	竖	国会(4)・日大	
561	森田	寛政11.5.7	菅原伝授手習鑑・京鹿子娘道成寺	竖	演博・国会・日大	
562	森田	寛政11.6.19	関取千両幟・姻袖鏡	竖	国会	
563	森田	寛政11.9.9	仮名手本忠臣蔵・三度笠恋の乗掛	横	国会・日大(2)	
564	河原崎	寛政13.1.17	的当歳初寅曾我・奇花文渦卷	横	演博・国会(2)	
565	河原崎	享和1.2.13	花鳥臙乗掛・月梅思春雨	横	演博・国会・日大	
566	河原崎	享和1.3.3	的当歳初寅曾我第二番目	横	演博・国会(2)	
567	河原崎	享和1.3.25	的当歳初寅曾我第二番目・江の島奉納見台	横	演博・国会・日大	

568	河原崎	享和1.5.7	皐花吉岡染	横	国会(2)	
569	河原崎	享和1.5.25	的当歳初寅曾我御祭・花屋台見物左衛門	竖	演博	
570	河原崎	享和1.7.15	妹背山婦女庭訓	横	演博・国会(3)・日大・東図	
571	河原崎	享和1.8.13	厥紫四季の家橘	竖	演博・国会・日大	
572	河原崎	享和1.9.15	仮名手本忠臣蔵	竖	演博(2)・国会(3)・東図	
573	河原崎	享和1.9.15	仮名手本忠臣蔵	3丁	国会	上記のものを役割番付に仕立て直したもの。
574	河原崎	享和1.11.9	(名歌徳三升玉垣・四立目)	竖	演博	本屋半兵衛版。清長ではない。
575	河原崎	享和2.1.29	初紋日扮飾曾我・三浦の片貝操車	横	演博・国会(2)	
576	河原崎	享和2.3.3	初紋日扮飾曾我第二番目・結劔鹿子道成寺	竖	演博・国会(2)	
577	河原崎	享和2.4.5	郭公相宿話・結劔鹿子道成寺	横	演博・国会・東図	
578	河原崎	享和2.5.5	郭公相宿話第二番目	横	演博・国会(2)・日大	
579	河原崎	享和2.6.24	夏祭浪花鑑	竖	演博	
580	河原崎	享和2.8.10	(参考)柱立披露口上書	横	国会	絵入
581	河原崎	享和2.9.29	九月花双重雛形・源平布引滝・お俊伝兵衛・道行栄花月	横	演博・日大	
582	河原崎	享和2.11.21	義経千本桜	竖	日大	
583	河原崎	享和3.閏1.13	世響音羽桜・娘形外媚道成寺	横	演博・国会・日大・東図	
584	河原崎	享和3.2.2	姫小松子の日遊・伊勢音頭恋寝剣・娘形外媚道成寺	横	演博・国会(2)・日大	
585	河原崎	享和3.8.17	花櫓助飛入相撲・色揚古手屋仕込・紅葉瀬川月	横	演博・国会・日大(2)	
586	河原崎	享和4.2.6	戯場花女絵曾我・蝶衛松太夫・二人女房仲も由兵衛	横	国会(2)	
587	河原崎	文化1.3.11	戯場花女絵曾我第二番目大詰・窓衣笹花王	竖	演博・国会・東図	
588	河原崎	文化1.5.15	おやま紅対艶姿	横	演博・国会	
589	河原崎	文化1.7.3	天竺徳兵衛韓嘶	竖	演博・国会・日大	
590	河原崎	文化1.7.3	天竺徳兵衛韓嘶	3丁	国会	上記のものを役割番付に仕立て直したもの。上記に「河原長十郎」とあったものを「河原崎長十郎」に直している。

591	河原崎	文化1.8.13	天竺徳兵衛韓嘶第二番目後日・色取名画家土産・七種秋錦繪	横	演博・国会(2)	
592	河原崎	文化1.9.12	恋手取相撲番付	横	演博・国会・日大	
593	河原崎	文化1.9.29	仮名手本忠臣蔵	横	演博・国会(2)・日大・東図	
594	河原崎	文化2.2.1	御江戸花賑曾我・初霞由縁蝶	横	演博・国会(3)・日大	
595	河原崎	文化2.3.21	御江戸花賑曾我後日・(鏡山故郷錦繪)・助六由縁江戸桜	横	国会	
596	河原崎	文化2.6.10	仮名手本忠臣蔵	豎	演博・東図	
597	河原崎	文化2.7.15	仮名手本忠臣蔵第十段目	豎	演博・国会(2)・東図	
598	河原崎	文化3.1.23	三津誉会稽曾我・陸屠蘇猿隈	横	国会(2)・東図	
599	河原崎	文化3.3.3	三津誉会稽曾我・京鹿子娘道成寺	豎	演博・国会	
600	河原崎	文化5.1.13	ひらかな盛衰記・染模様妹背門松・翠恋柳朧夜	横	演博・国会・東図	
601	河原崎	文化5.3.17	菅原伝授手習鑑	横	国会・日大	
602	森田	文化5.4	森田座再興(式三番叟)	横	国会(2)・池田	「鳥居清長画」とあり
603	森田	文化5.閏6.1	時為得花栄森田・垣衣昔雛形・棲誘恋賤女	横	国会(2)・東図・池田(2)	
604	森田	文化5.閏6.22	一谷嫩軍記・姫小松子日の遊	豎	演博・国会	
605	森田	文化5.9.19	双蝶々曲輪日記・平家女護島	豎	演博・東図	
606	森田	文化6.1.25	御蟲貞新玉曾我・御慶候初音の鶯・花暦開紀行	横	演博・国会(2)・池田	
607	森田	文化6.2.18	花暦開行記第二番目・道行柳春雨	豎	国会	
608	森田	文化6.3.3	其往昔恋江戸染・新媛房雛世話事・道行手向の花曇	横	国会・日大・東図	
609	森田	文化6.6.11	阿国御前化粧鏡	横	演博・国会・日大・池田	
610	森田	文化6.8.16	義経千本桜・けいせい返魂香・有土佐容形写絵	横	東図	
611	森田	文化6.9.9	けいせい返魂香・有土佐容形写絵・関取二代勝負付・廓文章	横	演博	
612	森田	文化6.11.12	四天王嫩功・山又重山雲彩色	豎	演博	
613	森田	文化7.1.23	八陣守護城・刀屋半七浮名の深川・恋路の真崎	横	演博・国会・池田	
614	森田	文化7.3.3	八陣守護城第二番目・隅田川統倂・鐘鳴朧写絵	横	国会・東図・池田	
615	森田	文化7.4.2	柵自来也談	横	演博	

616	森田	文化7.4.5	柵自来也談	横	演博・日大・池田	上記の日付のみ改刻
617	森田	文化7.5.11	太平記忠臣講釈	横	演博・国会・日大(2)	
618	森田	文化7.6.1	太平記忠臣講釈切狂言・世話料理八百屋献立	竖	国会・日大	
619	森田	文化7.6.24	男盛浪花姓・堀川のだん	竖	演博	
620	森田	文化7.7.5	男盛浪花姓・堀川のだん・綴合会稽錦	竖	演博・国会	
621	森田	文化7.9.13	今昔小栗栖文談・恋飛脚大和往来・三種笠慈愛旅路	横	演博・日大	
622	森田	文化8.2.23	台賀栄曾我・花姿詠千金	横	演博・東図・池田	
623	森田	文化8.3.5	台賀栄曾我後日・祇園祭礼信仰記・英執着獅子	横	演博・国会・東図・池田	
624	森田	文化8.3.7	英執着獅子	横	東図	
625	森田	文化8.3.21	祇園祭礼信仰記切狂言・花後日妓女風俗	竖	演博	
626	森田	文化8.4.6	仮名手本忠臣蔵・旅枕姿花姫	横	国会・日大(2)・東図	
627	森田	文化8.4.8	仮名手本忠臣蔵・旅枕姿花姫	横	演博	上記の日付のみ改刻
628	森田	文化8.5.10	仮名手本忠臣蔵新狂言	横	日大(2)	
629	森田	文化8.6.8	義経千本桜・関初音杉島	竖	演博・日大	
630	森田	文化8.8.4	漢人韓文手管始・蘆屋道満大内鑑・今昔同中富	横	演博(2)・国会・日大	
631	森田	文化8.8.16	蘆屋道満大内鑑第二番目・縫習帯屋信濃屋・名月桂川浪	竖	演博・国会	
632	森田	文化8.9.17	俊寛双面影・本朝廿四孝	横	演博(2)・日大・池田	
633	森田	文化8.10.6	本朝廿四孝・江戸紫流石男気・積恋雪関扉	横	演博(3)・日大・池田	
634	森田	文化9.4.14	友集重島原細記・伊勢音頭恋寝剣	横	演博・日大(2)	
635	森田	文化9.5.5	増補安達原・さる程重情一諷・花妻浮名井筒顔	横	演博(2)・日大	
636	森田	文化9.5.28	増補安達原・さる程重情一諷・新累世俗話	竖	演博・日大・池田	
637	森田	文化9.6.18	行平磯馴松・恋飛脚大和往来・形見忍夫摺・道行浮名の時付	竖	演博(2)・日大	
638	森田	文化9.7.15	行平磯馴松・恋飛脚大和往来・恋女房染分手綱・恋男調松風・道行浮名の時付	竖	日大・池田	
639	森田	文化9.8.20	其往昔恋江戸染・新媛房雛世話事・手向草霧の写絵	横	演博(2)・日大	

640	森田	文化9.9.9	扇矢数四拾七本・重陽謎の常磐津・新媛房雛世話事・手向草霧の写絵	横	演博(2)・日大	
641	森田	文化9.9.23	扇矢数四拾七本・重陽謎の常磐津・女鉢木・参らせ候根引曙	横	演博	
642	森田	文化10.1.17	例服曾我伊達染	横	演博・日大	
643	森田	文化10.3.5	浜真砂劇場絵本・お染久松色読販・心中翌の噂	横	演博(4)・日大	
644	森田	文化10.4.6	浜真砂劇場絵本後日・五大力恋緋	横	演博・日大	
645	森田	文化10.4.18	源平布引滝	竖	日大	
646	森田	文化10.5.7	曾我祭侠競	横	演博・日大	
647	森田	文化10.5.20	(仏舍利)	横	日大	
648	森田	文化10.6.17	尾上松緑洗濯話・閨茲姿八景	横	演博	
649	森田	文化10.6.20	尾上松緑洗濯話・閨茲姿八景	横	演博(2)・日大	上記の日付のみ改刻
650	森田	文化10.9.11	男一疋達引安売	横	演博・日大	
651	森田	文化10.閏11.7	(戻橋閨顔鏡)	横	日大(2)	
652	森田	文化11.1.10	双蝶全仮粧曾我・其心春朧夜	横	演博・日大・東図	
653	森田	文化11.3.12	妹背山婦女庭訓・隅田川続俳・両顔月姿絵	竖	演博(2)・日大(2)	
654	森田	文化11.5.11	仮名手本忠臣蔵	横	演博(2)・日大・東図	
655	森田	文化11.6.16	恋女房染分手綱	竖	演博	
656	森田	文化11.6.29	恋女房染分手綱・伊達競阿国戯場	竖	演博	
657	河原崎	文化12.4.吉	(河原崎座再興・式三番叟)	横	演博・日大・東研	「鳥居清長筆」とあり
658	河原崎	文化12.5.11	時今摂握虎・杜若艶色紫	横	演博(2)・日大	
参考	河原崎	文化12.6.28	慙紅葉汗顔見勢・垂帽子不器用娘・寿二人狸々	横	演博(2)・東研・池田	顔見世番付形式。「絵師鳥居清峯筆」とあり

2 補遺

この補遺には、『鳥居清長作品総目録』の「版画作品目録」「絵本番付・絵本・枕絵・挿絵本作品目録」「肉筆画作品目録」の補遺を収載した。

掲載順・凡例は『総目録』に従った。

「№」「作品名」の他は補遺及び訂正部分のみ記載した。

新出の作品には「№」の項に*印を付した。新しい「№」は最終「№」の次から順に付した。ただ

し、同一揃物に属する新図は、枝番を追加した。

補遺項目のうち「所蔵(文献)」の新規の追加は公的機関に限定した。

版画作品目録

I 大判

No.	作品名	続絵	版元	年代(西暦)	所蔵(文献)	備考
1・20	当世遊里美人合 たち花				BER	
2・4	雛形若菜の初模様 松葉屋瀬川					1784。図録の浅野論文参照
2・5	雛形若菜の初模様 大文字屋内まいずみ				BER	
3・2	風俗東之錦 (町家の妻と娘と小僧)				ギリシャ国立アジア美術館	
4・2	風流三つの駒 (馬貝)				BER 礒川	
6・6	美南見十二候 (八月 月見の宴)				ヨハネスバーグ美術館(左)	
7・4	(官女)(清少納言)				ギリシャ国立アジア美術館	
7・5	(官女)(女三の宮)				ギリシャ国立アジア美術館	
11・5	子宝五節遊 (重陽)				BER	
13・3	子宝五節遊 (端午)				ギリシャ国立アジア美術館	
15	(大川端の夕涼)				HAM(左)	

18	(富士の巻狩り)				リートベルグ美術館	
22・a	(牛若丸と浄瑠璃姫)				ギリシャ国立アジア美術館(中・左)	
30	(仲の町の桜)				BER(左)	1785。次項の追記参照
32	(仲の町の牡丹)					1786。次項の追記参照
41	(洗濯と張り物)				ギリシャ国立アジア美術館(中)	
43	(初春の越後屋)				ヨハネスバーグ美術館(中)	
49	(吉原坎々楼遊興)				ギリシャ国立アジア美術館(左)	
55	(三代目瀬川菊之丞の小糸、山下万菊の賤機姫、三代目沢村宗十郎の大友常陸介、浄瑠璃二代目富本豊前太夫、脇語り富本斎宮太夫、三絃名見崎徳治)				HAM	
67	(三代目市川八百蔵の揚巻の助六、中村里好の揚巻、五代目市川団十郎の髭の意休、二代目市川門之助の白酒売、市川海老蔵の禿あげは、中村彦太郎の禿小ちょう)				ギリシャ国立アジア美術館(右)	
76	(三代目沢村宗十郎の頼朝、山下万菊の政子、中村里好の清滝)				HUAMをフリーア・アンド・サックラー美術館に変更	
82	(三代目沢村宗十郎の曾我五郎、三代目市川八百蔵の白菊の亡霊、五代目市川団十郎のでく六兵衛、浄瑠璃二代目富本豊前太夫、脇語り富本斎宮太夫、三絃名見崎徳治)				足立区立郷土博物館	
102	(三代目瀬川菊之丞の石橋)				リートベルグ美術館	
*553	(三代目瀬川菊之丞と四代目岩井半四郎の回礼姿)		蔦屋重三郎	1791～93	クリスティーズ・ニューヨーク1996.3	極印あり
109	(天狗を凧にして揚げる金太郎)				ギリシャ国立アジア美術館	
118	(熊に乗る金太郎)				ギリシャ国立アジア美術館	

121	(芝居ごっこの金太郎)					『白潮山莊浮世絵鑑賞』(1958)掲載品に1805年11月または12月の改印あり
130	(仔犬をひく金太郎)				リートベルグ美術館 ギリシャ国立アジア美術館	
135	(猪に乗る金太郎)				ヨハネスバーク美術館	
144	(牛若丸と弁慶)				ギリシャ国立アジア美術館	
145	(旗本の妻と侍女二人、供の男)					「旗本」を「武家」に訂正
*149	(鳥居前の女たち)	2枚続			左図に相当する作品が『日本版画美術全集』第3巻及びクリスティーズ・ニューヨーク1997.11に載る	従来紹介されていたのは2枚続の右図。次項の追記参照。
150	(観梅の人々)					削除。勝川春潮の作品。
*554	(矢の根五郎)		江崎屋吉兵衛	1789～93頃	『白潮山莊浮世絵鑑賞』(1958)	武者絵

II 間判

*154・5	音曲手ことの遊 (舟に乗る芸者)				クリスティーズ・ニューヨーク2003.9	
--------	------------------	--	--	--	----------------------	--

III 中判

159・3	風流十二気候 やよひ				ギリシャ国立アジア美術館	
*161・10	山王御祭礼 小網町三丁分 筒井筒踊やたい		西村屋与八	1780	リートベルグ美術館	
163・7	(唐子遊び)(基でけんかする唐子たち)				ギリシャ国立アジア美術館	
*163・8	(唐子遊び)(子をとろ子とろの遊びをする唐子たち)				ギリシャ国立アジア美術館	
169・4	又江花 (店前の若者と仲居)					副題を(水茶屋三人女)に訂正
178-7	青楼仁和嘉尽 京町一丁目 龍神はやし練りもの					副題を「京町一丁目 龍しんはやしねりもの」に訂正

182・5	美南見十二候 五月				ヨハネスバーク美術館	
182・8	美南見十二候 八月				ギリシャ国立アジア美術館	
184・10	兒女宝訓女今川 人の中言を企て…				ギリシャ国立アジア美術館	
186・2	誹風柳多留 腰帯を…				リートベルグ美術館	
187・4	教歌十首 (不作法)				ギリシャ国立アジア美術館	
188・2	江戸八橋 日本橋				ヨハネスバーク美術館	
193	風流江都之□□					作品名の□□を削除
197・1	誹風柳多留 うつつにも…				HAM	
198・9	女風俗十寸鏡 (芸者)				ギリシャ国立アジア美術館	
200	江都七福神まいり					1793か。図録の浅野論文参照
202・4	東風俗略十種香 (旗本の娘と侍女)					「旗本」を「武家」に訂正
202・5	東風俗略十種香 (旗本の妻と侍女)					「旗本」を「武家」に訂正
202・6	東風俗略十種香 (遊女花扇の揚屋入り)					副題を「遊女道中」に訂正

IV 小判

*237・7	戯童十二氣候 三月(汐干狩)		西村屋与八		「2009新春版画目録」 99頁	
239・4	風流略六玉川 高野				ギリシャ国立アジア美術館	2丁掛の左
239・5	風流略六玉川 千鳥				ギリシャ国立アジア美術館	2丁掛の右
244・5	六歌仙 在原業平					副題を「在原業平朝臣」に訂正
*245・9	三ヶ津涼十景 両国				個人	
*246・10	風俗十二通意 (品川遊所)				インディアナ大学附属美術館	

V 細判

257	細川勝元 (二代目)市川高麗蔵				HUAMをフリーア・アンド・サックラー美術館に変更	
*306	(二代目市川八百蔵の助六)(四代目)岩井半四郎のけいせいあげ巻	2枚続			所蔵不明(右) ヨハネスバーク美術館(左)	
*555	(二代目)瀬川菊之丞のけいせい舞鶴			1772	礫川	「振袖着更衣曾我」
*556	(二代目)山下金作の浅香のつばね			1772	個人	「けいせい紅葉襦」
291	(二代目)坂田半五郎の小林の朝比奈				HUAMをフリーア・アンド・サックラー美術館に変更	
292	(三代目)瀬川菊之丞の傾城千代崎と瀬川雄次郎の喜瀬川				リートベルグ美術館	
315	(四代目)松本幸四郎の菅丞相)					作品名を「(四代目)松本幸四郎のかんしやうじやう」に訂正
331	(三代目)沢村宗十郎)					351と重複につき削除
344	(四代目)岩井半四郎のかさね				リートベルグ美術館	
349	(二代目坂東三津五郎の天念の万作狐、二代目市川門之助の二階堂信濃介、四代目岩井半四郎の大倉の小女郎狐)					作品名の「二代目坂東三津五郎…」の「二代目」をとる
*557	(二代目市川門之助の?)曾我五郎と御所五郎丸					『清長名作特別展』図録(1964)と同年の『日本浮世絵協会会報』8の溝口康麿氏の記事参照
376・1	(曾我祭の役者たち)(二代目嵐龍蔵と三代目市川高麗蔵)				東博(2)	
376・3	(曾我祭の役者たち)(五代目市川團十郎と四代目市川海老蔵)				東博(2)	
376・5	(曾我祭の役者たち)(二代目市川門之助と三代目瀬川菊之丞)				東博(2)	
377・c	(市川鯉蔵の暫)				BER	

382・2	風流七福神（弁天）				リートベルグ美術館	
*558	（本柳屋お藤）		岩戸屋源八か	1770～72頃	礪川(2)	
*559	（遊女と禿）			1775頃	ギリシャ国立アジア美術館	
*560	うまいだあまいだぶし おどけ哥念仏			1776～77	個人	

VI 柱絵判

432	（舟に乗る藝者）				HUAMをフリーア・アンド・サックラー美術館に変更	
*433-4	風流十二支 子			1782頃	Jacob Pins: The Japanese Pillar Prints, Hashira-e 1982	
516	（天神像）				千葉	錯誤につき削除
*561	（猿曳と男女）			1782頃	Jacob Pins: The Japanese Pillar Prints, Hashira-e 1982	
*562	（屋根舟の男女と岸を歩く女二人）			1783～84頃	SCHRAUBSTADTER・COLL.1921N.Y.	

VII 摺物

No.	作品名	判型	版元	年代(西暦)	所蔵(文献)	備考
544	門松 猿若					「猿若」を「さるわか」に訂正
*563	（藤間芳名開き披露公演摺物）	大奉書全紙判		1810	個人	42.5×55.7cm

絵本番付・絵本・枕絵・挿絵本作品目録

No.	作品名	種類・形式など	刊年	版元	所蔵(文献)	備考
*32	壇浦兜軍記 糸ざくら	長唄(めりやす)正本1冊	安永7 1778	金井半兵衛・千本藤七	個人	表紙絵

肉筆画作品目録

No.	作品名	形状	署名・印章	制作年	所蔵	備考
19	「徒然草画卷」3巻のうち「酔歩の女と階上の土人」			享和3年頃	個人→東京藝術大学 大学美術館	島内裕子「東京藝術大学大学美術館蔵「徒然草画卷」(全五十三図)の紹介と研究」(『放送大学研究年報』25号、2007)及び古田亮「鳥居清長の肉筆画を含む《徒然草画卷》(東洋画真蹟1262)について」(『東京藝術大学大学美術館年報〔平成19年度〕』2009)参照
*34	三代目市川八百蔵の助六・尾上松助の意休・中山富三郎の揚巻	紙本着色扇面	清長筆「清長」 (朱文方郭内 円印)	享和2年	個人(『肉筆浮世絵』 1989.5ギャラリー内村、 所載)	享和2年3月中村座「助六廓の江戸桜」に取材。辻番付目録118と同一図様

3 参考図

「版画作品目録」及びこの補遺に載るもので、平野千恵子『鳥居清長画集』に図版が掲載されていない、『鳥居清長』展図録にも掲載しなかったものが、掲載した。なるべく多くの図を載せるべく努力したが、掲載できなかったものも多いことをお断りしておきたい。なお、平野氏の「清長の版画総目録」にないものもあり、『鳥居清長画集』に図版が掲載されているものもあり、それは当然省いた。

図版の番号は、「版画作品目録」及びこの補遺の番号である。()は平野番号である。ただし、平野番号は原則として編者の判断による。補遺に収録した「絵本番付・絵本・枕絵・挿絵本作品目録」の1点と「肉筆画作品目録」の1点はそれぞれ「絵本…」「肉筆…」と記した。



10-2 (881)



9



2-10-a



35-b (848)



31-b (844)



83 (741)



39 (794)



139



134 (1007)



121 (993)



154-5



151-5 (218)



149 の左 (870 の左)



160-3 (204)



159-6 (196)



159-3 (193)



161-10



161-7 (237)



160-12



168-5



164-9



163-7



171-8



169-9



169-8 (364)



174-7



174-6 (1050)



173-3



178-7 (1066)



178-1 の左 (495 の左)



174-8



186-6 (727)



185-11



179-3



195-3



193-4 の右 (826 の右)



193-2 の左 (824 の左)



202-7



198-9 (915)



195-4



223 (884)



216



207



230-2



229-8



228-4



232-7



232-6



231-8



237-4



236-2 (253)



232-8



238-3



238-1 (1071)



237-7



242-10



242-9



238-4



245-7



245-6 (1068)



244-5 (753)



246-10



245-9



245-8



249-9



249-4



247-3 (1057)



255



250-2



249-10



315 (63)



306の左 (54の左)



303



257



335



321 (71)



319



351



339



337



336



372



371



369



359 (1064)



403



377-c



374



373



434-b



433-4



433-3



429 (392)



426 (324)



408 (179)



517



515



514



513



484-5 (528)



531



519-b



535 (1065)



532-2



532-1



538



536



543 (973)



539



553



552



548



562



561



560



554



絵本 32

4 拙稿「清長版画の編年について——美人風俗画を中心に」追記

「鳥居清長」展図録に掲載した、表題の論文で、二つだけ追記しておきたい。一つめは一三六頁と二七二頁に記した大判三枚続「仲の町の桜」と同「仲の町の牡丹」の制作年代についてである。両頁に天明五年秋版の吉原細見は刊行されていないと書いたが、それは間違いで、その後、天明五年秋版の吉原細見を見る機会を得た。その細見に「あふぎや内にほてる」の名前があった。禿名は「なみじ ちどり」である。天明五年秋版に初めて名が載ることとは、普通に考えると、にはてるは天明五年春版の細見の編集が終わった後、天明五年春頃以降に見世に出たということになる。したがって、一三六頁に記したように、「仲の町の桜」に描かれた三人の遊女が図に記された禿を伴って揃う可能性があるのは天明五年春だけということになる。にはてる付きの禿の一人が版画と細見で合わないのは、見世に出た当初は版画にあるように「なみじ あふみ」であったが、天明五年秋版が編集される前にそのうちの「あふみ」が「ちどり」に変わったと考えれば矛盾しない。このような絵の場合、より重要なのは遊女名であり、禿名を間違えたということもありえる。

また、天明五年秋版の吉原細見に「玉屋内静」の名前は無かった。したがって、静の名が細見に登場

するのは、天明六年春版からということになる。となると、「仲の町の牡丹」は天明六年の五月頃の牡丹の季節に刊行されたものとほぼ確定できるということになる。天明六年の大判の美人風俗画の基準作ができたという点ではありがたいことである。

平野千恵子氏は、「仲の町の桜」の制作年代を天明六年、「仲の町の牡丹」の制作年代を天明七年としているが、結果的に一年ずつずれることになったわけである。しかし、これをもって平野氏の年代推定を杜撰と考えることは正しくない。おそらく、平野氏はこの時期の吉原細見をすべて用意して遊女絵の年代考証はしていない。戦前にそれをすることは不可能に近かったからである。したがって、他の作品との様式の比較によって作画年代を決定したものと推定される。それが一年しかずれていなかったことをむしろ称賛すべきであろう。

二つめは、金太郎絵についてである。金太郎絵は毎年正月に売り出し、時にその歳の干支に因む動物を画中に入れたことが明らかになったが、金太郎絵の制作は、当然ながら、前年の暮ということになる。虎の玩具が描かれている「芝居ごっこ金太郎」について、檜崎宗重『白潮山莊浮世絵鑑賞』（内山晋コレクシオン、私家版。一九五八年）に掲載された図に、文化二（丑）年一月あるいは一二月の改印が認められることは、文化二年の暮に制作され、翌年用に売り出した（販売は暮から行われたのかも

しない)ことを証明するものであり、同様に、鬼がいる「船頭姿の金太郎」に文化三(寛)年一〇月、一二月の改印が認められることは、文化三年暮に制作され、翌年用に売り出されたことを証明するものである。「天狗の闘鶏を見る金太郎」には、津村屋三郎兵衛の月番行事印があるが、津村屋は、文化九年一月に月番行事であったので、その月に改めを受けて制作、翌文化一〇年(酉年)用に売り出したものと考えられる。

5 おわりに

最後に、補遺を作成しての覚書を記しておきたい。

『総目録』の「版画作品目録」の「大判」で、平野氏の目録に新図様を追加したのは、No.9の「源氏物語(浮舟)」と金太郎図2図の計3図のみであった。それをもつてしても平野目録の秀逸さを再認識できるのであるが、補遺で、3図加えることができたのは幸であった。そのうちのNo.145「(鳥居前の女たち)」は平野氏の予想どおり続絵であったが、美人風俗画として見た場合、何ともしつくりこない奇妙な作品にみえる。左図の立っている女性の着衣の模様が藤であることなども参考に、この図を「鏡山」物の草履打のやつしと解することはできないであろうか。左図の二人を鶴ヶ岡八幡宮社前の岩藤と尾上、周囲の揚帽子姿の女性たちを御殿女中と解

するのである(このことは吉田映二氏が『日本版画美術全集』第3巻「講談社、一九六一年」で既に指摘している)。そうであれば、清長の美人風俗画としては、従来知られていなかった種類の作品として注目すべきものといえるであろう。

文化七年(二八一〇)の大型豪華摺物「藤間芳名開き摺物」の資料的価値も小さくない。No.306の左図も新たに見出されたものであるが、岩井半四郎の姿形がNo.303の姿形とほとんど同一であるのも興味深い。またこれは、既に『総目録』に記載した作品であるが、No.532「謡曲番組」の二図が確認されたことも、大きな意味を持つと思われる。二図のうち「しやつきやう」は15・9×11・0cm、「夜うち曾我」は16・1×11・1cmという大きさで、おそらくは小奉書八分の一、すなわち小判の二分の一の判型である。清長はもとより、同時代にこのような小型の揃物があつたという報告に接していないからである。管見の範囲では、このサイズの版画は摺物を除くと歌川広重の最も小さい花鳥画しか知らない。もししかして、清長や同時代の絵師と版元は、このように小さく安価な作品を相当数制作していたのかもしれない。当時、「三文絵」という言葉があるが、それに相当するものであろうか。またこれも既に『総目録』に記載した作品であるが、No.552の紅の包紙も珍しく、かつ重要なものである。これを含む貼込帖は少なくとも二種現存しており、改めて考察されるべ

き作品と考えられるので、これ以上は言及しない。

版画作品において、小判・細判といった小型のものや摺物は、今後かなり新規に追加されると思われるが、大判・間判など比較的大きな判型のものの追加はごくわずかに止まるであろう。中判では、揃物で欠けている作が新たに見出されることはあっても、全く新しいシリーズが見つかる可能性は少ないと思う。「所蔵(文献)」を見ても気付くことであるが、大判・間判・中判・柱絵判は清長が版下を制作した作品の八割以上、場合によっては九割以上伝存し、見出されているように思われる。

黄表紙、緒番付、絵入版本も同様と思われるが、今回の補遺に収載した長唄(めりやす)正本『壇浦兜軍記 糸ざくら』の表紙絵に「清長画」と署名されているのには驚いた。当時、薄物正本と俗に言われる、数頁しかない浄瑠璃・長唄の正本の刊行は盛んで、歌舞伎の上演に合わせ、浮世絵師による役者絵の表紙を付けて刊行されていた。その表紙絵の多くは無款であるが、なかには署名入りのものもあり、歌麿や春朗(北斎)の表紙絵も確認されている。しかし、おそらくは鳥居派の作が最も多いと考えられる。清長の署名のある表紙絵の正本が今後多数確認されるとは思えないが、無署名の表紙絵のかなりのものが清長の版下である可能性が出てきたからである。明和後期から安永期の新進の清長が、細判の役者絵、中判・小判の美人風俗画、黄表紙、絵本番付

に作画し、師の清満が指揮する絵看板の作画や辻番付・顔見世番付の作画を補助し、その上、浄瑠璃・長唄正本の表紙絵を担当していたとすれば、当該期の清長の充実した作画活動を推測することが出来る。

肉筆画のうち「酔歩の女と階上の士人」の現在の所蔵先が判明したことも重要である。「徒然草画卷」三巻中の一図であり、同巻には歙形惠斎等の絵もある。詳細は島内裕子氏の論文と古田亮氏の研究報告を参照していただきたいが、今後の詳細な研究の俟たれる画卷である。扇面の助六図が確認されたことも大きい。上演に即して、おそらく注文により制作したものと推定されるが、清長が同種のを相当数描いた可能性があるからである。捺された印章は、従来の作品には見出されなかったものであり、今後検証されるべきものであろう。

天明期以降の清長が制作した絵画関係の作品で、歩留り率、つまり制作した作品のうち現在に伝わっているものの数が決定的に悪いのは肉筆画である。特に著しいのは絵看板である。現存する絵看板はわずかに一点のみ。想像をたくましくすれば、辻番付の図数に相当する、いや顔見世興行もあるからそれを上回る、年間百前後の数の絵看板を門弟と一緒に描いたものと推定したい。清長が、生涯に最も時間を費やし、最も多く制作したのは絵看板であろう。清長の絵師としての一生を展望するに当たって、そ

のことだけは忘れてはならないと思う。

この紀要において、『鳥居清長作品総目録』の作成を一応終えることになるが、より充実させる営為は今後も続けたいし、清長に関心のある諸氏にもそのことをお願いしたい。

Catalogue Raisonné of the Works of Torii Kiyonaga, An Addendum

Shugo Asano

In 2007, the Chiba City Museum of Art held a Torii Kiyonaga exhibition from April 28 – June 10. A catalogue of the exhibition was published at the time and on May 31, 2007, a *Catalogue Raisonné of Torii Kiyonaga* was published. In this *Research Journal* I have cited the *tsuji banzuke* (advance promotional flyers or street play-bills for a kabuki theater) that were not included in the *Catalogue Raisonné*. Here I note some additional information and ideas that have since come to light. Further, I have added reference illustrations of those images discussed in the Print Works Catalogue and in this addendum which were not previously reproduced in the Torii Kiyonaga exhibition catalogue or in Hirano Chieko's *Torii kiyonaga gashû* [Collected pictures of Torii Kiyonaga].

Further, I would like to add two additional notes to my paper, “The Chronology of Kiyonaga’s Woodblock Prints – Focusing on beauty genre pictures,” published in the Torii Kiyonaga exhibition catalogue. My first comment is regarding the date of production of two Ōban size triptychs, *Nakanochō no sakura* and *Nakanochō no botan*. In that paper I noted that the Tenmei 5 Autumn edition of the *Yoshiwara Saiken* had not yet been published, but since then I have had opportunity to view it. As a result, I can almost certainly determine that the *Nakanochō no botan* was published around the 5th month of Tenmei 6. Hirano Chieko has dated *Nakanochō no sakura* to Tenmei 6 and *Nakanochō no botan* to Tenmei 7, but this new research reveals that production dates of these two triptychs should be pushed back a year.

Secondly, I would like to note that *Kintarō-e* prints were sold each New Year, and the zodiac animal of each year was clearly worked into those prints. Thus, those *Kintarō-e* pictures were naturally produced at the end of the preceding year. The actual period of production is proved by the censor seals on each print.

Three *ōban* works can be added to the catalogue raisonné’s addendum. Of these works, no. 145, *Torii mae no onnatachi*, is, as posited by Hirano, part of a multi-sheet work, while it was also a *Yatsushi* of Kagamiyama. It thus must be considered noteworthy as a type of Kiyonaga beauty genre picture not previously known. The reference material value of the Bunka 7 (1810) dated *ōban* size luxury *surimono* “announcement of the succession to Fujima Yoshi” is also considerable. Further the confirmation of two pictures in no. 532, *Noh Chant Program* is also greatly important, even though it is a work that was previously listed in the Catalogue Raisonné. Of the two pictures, *Shiyakkyō* is 15.9 × 11.0 cm, while *Youchisoga* is 16.1 × 11.1 cm in size. This means that they were 1/8 of *kobōsho*-sized piece of paper or half of a *koban*-sized piece of paper. The presence of this size work is important because up until now there has been no information that Kiyonaga, or indeed anyone at that time, was producing small-scale prints. The term “*sanmon-e*” was used during that period, and it may refer to this particular small-scale format. It is also important to note that there is a “Kiyonaga ga” signature on the cover-sheet picture of a *nagauta* (*meriyasu*) libretto *Dannoura-Kabutogunki*, Ito. At the time, there was a flourishing publication of *yoruri* and *nagauta* libretti that consisted of only a few pages and were commonly referred to as *usumono shōhon*, literally thin libretti. When kabuki plays were presented, these libretti were published with actor prints by *ukiyo-e* artists attached as their front covers. The majority of these cover sheet pictures were anonymous, and the presence of this “Kiyonaga ga” signature is important because it indicates the possibility that a considerable number of these anonymous cover sheet pictures may have been based on drawings by Kiyonaga.¹

(Translated by Martha J. McClintock)

千葉市美術館研究紀要
採蓮 第十二号

二〇〇九年三月三十一日発行

編集・発行―財団法人千葉市教育振興財団
千葉市美術館

〒261-8733 千葉市中央区中央三―十八
電話〇四三―二二一―二三一(代)

制作―印象社

Bulletin of Chiba City Museum of Art
Siren No.12

March 31, 2009

Edited and Published by
Chiba City Museum of Art
3-10-8 Chuo, Chuo-ku, Chiba 260-8733 JAPAN
Phone. 043-221-2311

Produced by
Insho-sha

ISSN 1343-148X